

C-07

史跡 天皇の杜古墳 ヒノキ

御陵塚ノ越町

高さ 22.0m

幹周 3.30m

ひのき科 / 常緑高木

「御陵」という地名の由来となっている前方後円墳です。保存状態は良好で、付近は園地に整備されています。古墳は4世紀前半に桂川右岸地域を統治していた豪族のものと推定され、ヒノキはその頂上にあります。



C-10

榎原下ノ町 ムクノキ

榎原下ノ町

高さ 20.0m

幹周 3.80m

にれ科 / 落葉高木

3本が寄り添っていて、いずれも高さ20メートルの長身のムクノキです。民家の屋根の高さをゆうに超える姿は、遠くからもよく見え、地域のランドマークになっています。



C-09

ヤマザクラ 榎原久保町



榎原久保町

高さ 12.5m 幹周 2.30m

ばら科 / 落葉高木

「行者さんのヤマザクラ」と呼ばれ、隣に育つスギとともに地域の人たちに親しまれています。

C-11

榎原上ノ町(札場) ソメイヨシノ

榎原上ノ町

高さ 8.0m

幹周 1.60m

ばら科 / 落葉高木

山陰街道の起点は京。榎原は、その最初の宿場です。丹波・丹後から運ばれてきた物資の集積地として、古来から賑わってきました。このサクラは「札場の桜」として、いまも地域の人々に親しまれています。



C-12

クスノキ 三ノ宮神社御旅所



榎原上ノ町

高さ 17.5m 幹周 2.90m

くすのき科 / 常緑高木

「三ノ宮」バス停の脇にあり、道路を覆うように枝を伸ばしています。